

P 計画の基本事項				
基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進			
施策	(2) 小・中学生			
施策の方向性	<p>小学生は読書のきっかけづくりや読書の習慣の基礎をつくる重要な時期です。中学生になると、感動や共感を得たり、将来に役立つ本等を選んで読んだりするようになる一方で、読む子どもと読まない子どもの二極化が著しくなります。そのため、学齢が上がっても読書に対する興味・関心を持ち続けることができるように、子どもの主体的な活動や子どもたち同士で読書意欲を高め合う取組を行います。</p> <p>また、家庭、地域、図書館、学校等、社会全体で読書活動を広げていくことができるよう、保護者への啓発及び家庭・学校以外の身近な場所でも子どもたちが読書に親しめる取組を行います。</p>			
主な取組	①本の紹介		②読み聞かせ等の推進	
	③読書時間の確保		④読書活動の促進	
	⑤読書目標の設定		⑥調べ学習の促進	
	⑦保護者への啓発			
成果指標			策定時点	目標値(R9)
	1か月の読書率 ・ 小学2年生		94.2%	98.0%
	1か月の読書率 ・ 小学5年生		93.7%	98.0%
	1か月の読書率 ・ 中学2年生		70.7%	75.0%
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	小学生読書リーダーの養成	年間講座回数	基礎講座2回 交流会1回	基礎講座3回 交流会1回
	図書館利用案内とブックリストの配布	発行ジャンル数	4	4
	「自由研究ひらめきカード」の発行	発行ジャンル数	17	17
主な取組の実施状況及び今後の方針	①本の紹介		達成状況	
	<p>◆各学校の学校司書が主体となり、季節や時事に合わせた本のほか、テーマに沿った本、司書、読書ボランティア、図書委員等のおすすめの本などの展示やPOPの作成を行った。(教育振興課)</p> <p>◆「こぱらら」、「わいわいぱらら」を発行し、子どもたちに図書を紹介した。今後は秋の特別付録としていた学校司書の書評を読書週間の特別号として独立させ、子どもたちが読書をより身近に感じる誌面を作成する。(まどかぴあ図書館)</p>		②期待どおり	
	②読み聞かせ等の推進		達成状況	
	<p>◆学校やランドセルクラブにおいて、読書ボランティアと連携し、定期的に読み聞かせを行った。(教育振興課)</p> <p>◆おはなし会を107回開催し、幼児～小学生約1,700人の参加があったが、小学生の参加者が少なかった。今後は小学生が参加しやすくなる方法を検討する。(まどかぴあ図書館)</p>		②期待どおり	

<p>◆28 区のうち、22 区の地域貸出文庫において読み聞かせを実施した。</p>	
<p>③読書時間の確保</p>	<p>達成状況</p>
<p>◆多くの学校が読書時間を定期的に設けたが、授業時間増加等の影響により読書に使える時間は年々減少傾向にある。今後は学校での読書環境を保ちつつ、図書館や家庭で個人としての読書時間を増やす取組を模索する。(教育振興課)</p> <p>◆「おはなし会」や校内放送など、学校の図書室の利用促進に向けて様々なイベントや呼びかけを実施した。(教育振興課)</p>	<p>②期待どおり</p>
<p>④読書活動の促進</p>	<p>達成状況</p>
<p>◆まどかぴあ図書館司書の指導のもと、小学生読書リーダーの養成に向けて基礎講座や実践活動を行った。コロナ禍以降、活動時間が短縮されており、読書リーダーの養成に必要な活動は確保した上で、その他の部分のスケジュールを見直す。(教育振興課)</p> <p>◆赤ちゃん、幼児、小学1～3年生向けのブックリストを配布するとともに、赤ちゃん向けをブックスタートでも配布した。小学4～6年生向けのブックリストがないため、今後作成する。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆学校において、子ども読書の日及び読書週間等のイベント、ブックリスト並びに読書預金通帳を活用した取組を行った。今後は取組事例を学校間で共有できる場を設ける。(教育振興課)</p> <p>◆図書館子どもまつりでは「宮沢賢治」をテーマとしたクイズラリーやおはなし会などのイベントを開催した。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆まどかフェスティバルなどの地域イベントのために大型絵本を貸出した。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆学校において、司書や教諭のサポートのもと、児童生徒の企画・運営による読書活動を行った。(教育振興課)</p> <p>◆学校司書により、図書室の資料準備や選書を行うとともに、蔵書がない本についてはまどかぴあ図書館からの借入を行った。今後は他の学校や市外図書館との連携や電子書籍活用も検討する。(教育振興課)</p> <p>◆ヤングアダルトについての月1回の特集展示を行うとともに、Instagramで展示を周知した。展示場所が目立たないため、棚づくりを通じてその魅力を引き立てるよう工夫する。(まどかぴあ図書館)</p>	<p>②期待どおり</p>
<p>⑤読書目標の設定</p>	<p>達成状況</p>
<p>◆学校において、「読書預金通帳」を活用し、児童生徒の読書量の増加を図った。量だけに焦っている子もいたことから、児童生徒の読書の質を高めるため、他の取組との併用を図る。(教</p>	<p>②期待どおり</p>

	育振興課)	
	⑥調べ学習の促進	達成状況
	<p>◆自由研究ひらめきカードを発行し、夏休み期間に活用された。今後もテーマを増やし、充実を図る。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆小学校9校、中学校5校において新聞を配架したが、生徒の利用が少なかった。児童生徒が新聞に興味を持てるよう、特集コーナーの設置などの取組を行う。(教育振興課)</p> <p>◆調べ学習の支援として、資料収集や授業用資料の追加購入を行った。複数校からの同じ内容の貸出依頼があり、冊数調整をしたため、今後も調べ学習用の本を積極的に購入し、学校への貸出に備える。(まどかぴあ図書館)</p>	②期待どおり
	⑦保護者への啓発	達成状況
	◆学校において、図書館だよりを発行して児童生徒と保護者への啓発活動を行った。(教育振興課)	②期待どおり
C 評価		
推進委員会 評価	◆「読書時間の確保」の取組として、図書館や家庭で個人としての読書時間を増やす取組を模索するとの記載が進捗状況シートにあるが、内容をもう少し明確にすべきである。	
検討が 必要な事項	◆「読書時間の確保」の取組内容の具体的な検討	
A 改善		
改善結果	◆図書館や家庭で個人としての読書時間を増やすための具体的な取組を検討していく。	